

グローバル・カフェ×留学生センター共催 「ドイツ・台湾 イベント」を開催しました

2026年5月13日(水)、留学生センターとの共催で「ドイツ・台湾イベント」を開催しました。さぬきプログラムに参加しているドイツ出身のフロリアンさんと台湾出身のアンさんから、それぞれ自国の紹介をしていただきました。さぬきプログラムに参加する留学生を含む学生22名、教職員8名の計30名が参加しました。

最初にドイツ出身のフロリアンさんが発表しました。ドイツは同じ国でも地域ごとに言葉・文化・習慣がかなり違う国だそうです。豊かな国というイメージがありますが、政治や将来の見通しに対する不安を抱えている人や、環境問題意識の高い人も多いとのことでした。



国民的スポーツと言えばサッカーで、どんな小さな村でもチームを持っています。お城や教会などの美しい建築や、どこまでも続く高速道路(アウトバーン)も有名です。パンだけでも3,200種類もあるそうで、ほかにもビールやチーズなどの美味しい食べ物の写真を見ているとお腹が空いてきそうでした。

続いて台湾出身のアンさんが発表しました。自己紹介では、趣味のひとつであるハモニカ演奏を披露してくれました。他にも野球やバイクなど、体を動かすことも好きだそうです。

台湾には夏と冬の二つの季節しかなく、旅行するなら冬がおすすめとのことでした。故郷は南部の Pingtung (屏東) で、美しい海岸と温泉が有名です。

台湾にも豊かな食文化があります。「元気？」という挨拶の代わりに「ご飯食べた？」と訊くそうで、夕方学校や勤め帰りに寄る屋台村や、BOBA(タピオカ)ドリンクの店が軒を連ねるドリンクストリートの写真に皆驚いていました。

今年度前期初めての留学生による自国紹介イベントでした。留学生のみなさん、楽しい発表をありがとうございました。

